



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

8月

(木・土・水)



・流れくる水をせき止めよ
と板を置き土を寄せる



・保育士が使っていた
板をしゃべりにできると
気がついた女の子。
「これでもしてみる!!」



・他児も他の板を使って
しゃべりにある。



「こっちでもできるよ!!」
「やそやそ!!」

(土・木・石)



・木・石をいっしょに持
ってきて工夫していた



・水にかもいれないか
たしかめる。



土をすまみにいれこむ



「こまのりりり」
「まのりりり」
「まのりりり」



・ひとりで集中
して、一生けん
命作っていた
壁に投げる。



かたくなに土粘土を
水を運んできて調整。
「これくらい?」「何と?」
と話し合う。



(土粘土)



・中に石が入っており
それを取ると目に
見えると顔が
つりかたまる。



「1・2・3!!」

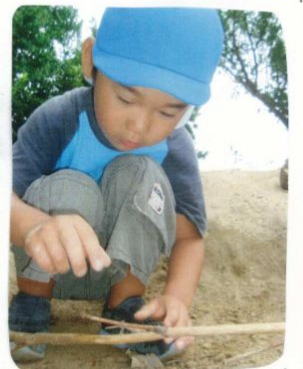
(土・水)

・女の子も強いこめさう
にわり何度も挑戦して



木に登っているアリをたどる

(小動物)



赤らんやもりを木に乗せ
歩いてあそび